

傾斜・天窓電動タイプ 電動式スタンダードIR仕様

取扱説明書 保証書付き

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、大切に保管してください。

INDEX

安全にご使用していただくために	1	お手入れ方法	34
取付け完成図と各部の名称	5	こんなときには	35
付属部品	6	メンテナンスシールについて	39
取付け前の準備と確認	9	保証について	43
ブラケットの取付け方法	10		
製品本体の取付け方法	13		
製品本体の取外し方法	15		
巻取りユニットの取付け方法	16		
巻取りユニットの取外し方法	17		
ガイドワイヤー調整機構の取付け方法	18		
コントロールユニットの 接続・取付け方法	21		
本体Noの設定	25		
操作方法	27		
リミットの調整方法	28		
スプリングの調整方法	31		
リモコン電池の交換方法	32		
LED報知について	33		

販売店様へのお願い

本取扱説明書は取付け後、必ずお客様へお渡しください。

安全にご使用していただくために

必ずお守りください。

ここではお買い上げいただいた製品を正しく取付け、安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。

取付けの前によくお読みになり、適切な取扱いをしていただきますようお願いいたします。

■ 表示内容と異なる誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、「重傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為をしてはいけない「禁止」の内容です。



製品の取扱いにおいて、その行為を必ずしていただく「強制」の内容です。

■ 取付け上のご注意（取付け前に必ずお読みください）



警告

《取付け上のご注意》

⊘ 付属のネジは木質以外の下地に使用しないでください。

付属のブラケット取付けネジは木枠用です。木質以外の下地（石膏ボード等）に取付ける場合は、取付け面の材質、ネジ穴に適合するネジおよびプラグ・アンカー等を別にご用意ください。ブラケットが確実に取付けられていないと製品が落下し思わぬ事故の原因となります。

❗ ブラケットは正しく取付けてください。

ブラケットは取扱説明書に記載されている数量、ネジ本数で取付位置に従い正しく取付けてください。確実に取付けないと製品が落下し思わぬ事故の原因となります。

❗ 電動工具を使用する場合は、下地にあった適正なトルクで取付けてください。

下地やネジ、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。
過度なネジの締付けは下地やネジが破損し製品が落下する思わぬ事故の原因となります。

❗ 製品が確実に固定されているか必ず確認してください。

製品本体をブラケットに取付ける際は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してください。取付けが不十分な場合、製品が落下し思わぬ事故の原因となります。



警告

《取付け上のご注意》

❗ 配線工事が必要な場合は有資格者が行ってください。

コンセント以外で屋内配線される場合は、販売店にご相談ください。

❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。

⊘ セッフレームだけを持って製品を持ち上げないでください。

セッフレームだけを持って製品を持ち上げると、部品が破損して製品落下の原因となります。



❗ 電源プラグはプラグ部を持って抜いてください。

コードを引っ張ったり、乱暴に扱うとプラグの根本が破損して火災の原因となります。



⊘ 高温多湿となる場所へは取付けないでください。

サウナ・浴室・湯沸器近く・ボイラー室等でのご使用は故障の原因となります。



水場使用禁止



注意

《取付け上のご注意》

⊘ 屋外には取付けないでください。

本製品は屋内用です。屋外で使用すると破損や故障の原因となります。

⊘ 高温となる場所へ製品を取付けないでください。

高温(50℃以上)が予想される場所では、製品の破損や故障する恐れがあるため、ご使用できません。

⊘ 受信機は下記環境下には設置しないでください。

下記環境下では、リモコンからの赤外線信号を受信して動作するため、正常に動作しなくなる恐れがあります。

※リモコンの送信距離は約5mですので、信号の受信可能な範囲に受信機を取付けてください。

- ・直射日光のあたる場所。
- ・白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く。
- ・LED照明や蛍光灯などの照明機器の近く。
- ・ホームセキュリティなどのセンサー用赤外線領域。
- ・その他赤外線機器の近く。

■ 使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)



警告

《使用上のご注意》

❗ 定期的に製品の取付け状態を確認してください。

1年に1回程度、製品本体がガタツキ無く、しっかりと固定されていることを確認してください。もし、ガタツキがあった場合は、再度、取扱説明書に従い取付けを行ってください。

❗ 電源プラグのほこりは定期的に取り除いてください。

プラグにほこりがたまると火災の原因となりますので、定期的に掃除をしてください。

❗ 発熱、異音、異臭などの異常がある場合は、電源プラグを抜いてください。

感電や漏電、ショートなどによる火災の恐れがあります。お買い上げ頂いた販売店へ連絡してください。

⊘ 雷の時は製品に触らないでください。

感電や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

❗ 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

長期間使用しない時は、漏電などでの火災の原因となりますので電源プラグを抜いてください。

⊘ 製品に物を載せないでください。

製品の上に物を載せることやハンガーなどを吊り下げると製品に無理な力がかかり、破損や落下事故の原因となります。



❗ 電源プラグはプラグ部を持って抜いてください。

コードを引っ張ったり、乱暴に扱うとプラグの根本が破損し火災の原因となります。



⊘ 濡れた手で製品に触らないでください。

本製品は電動製品のため、水をかけることや濡れた手で触らないでください。感電の恐れや故障の原因となります。



水濡れ禁止



注意

《使用上のご注意》

⊗ 製品高さ寸法の範囲を超えて使用しないでください。

製品の破損や故障など思わぬ事故の原因となります。

❗ お子様が使用する場合はご注意ください。

当製品を小さなお子様が使用する場合は、本製品の取扱い方法を理解した大人の監督のもとで行ってください。思わぬ事故や故障の原因となります。

⊗ 直接手でスクリーンを操作しないでください。

スクリーンを手で操作することは、絶対におやめください。製品の破損や故障の原因となります。

⊗ 必要以上に製品の昇降を繰り返さないでください。

連続して昇降操作を行うと内部の保護機能が働き停止します。
(保護機能は約10分で自動解除します)

⊗ 動作中に電源プラグを抜かないでください。

上下限の設定位置のずれや誤動作、故障の原因となります。

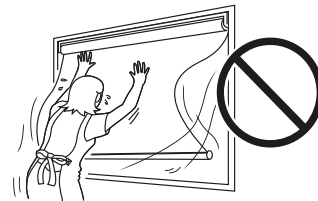
⊗ 製品の動作範囲付近には物を置かないでください。

置いている物や製品の破損、落下など思わぬ事故の原因となります。



❗ 風の強い時は必ず窓を閉めてください。

スクリーン(製品)が風にあおられ、製品や周りの物が破損する恐れがあります。



⊗ 火のそばでの使用はおやめください。

製品や部品が高温になり、変形や火災の原因となります。



火気厳禁

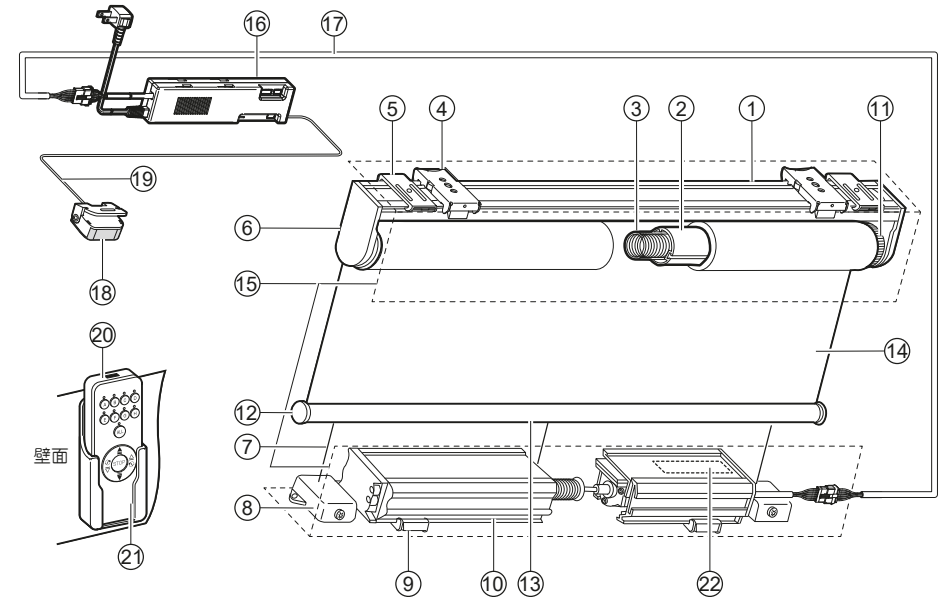
⊗ 製品の分解、改造はおやめください。

製品の破損や故障、落下など思わぬ事故の原因となります。



分解禁止

取付け完成図と各部の名称



- ① セットフレーム
- ② 巻取りパイプ
- ③ スプリングセット
- ④ 本体ブラケット
- ⑤ ワイヤーブラケット
- ⑥ プレートカバー
- ⑦ ガイドワイヤー
- ⑧ ガイドワイヤー調整機構
- ⑨ 巻取りユニットブラケット
- ⑩ 巻取りユニット
- ⑪ スプリング調整ダイヤル

- ⑫ ウェイトバーキャップ
- ⑬ ウェイトバー
- ⑭ スクリーン
- ⑮ フレーム
- ⑯ コントロールユニット(S)
- ⑰ 本体接続ケーブル(S)
- ⑱ 受信機
- ⑲ モジュラー変換ケーブル3
- ⑳ リモコン
- ㉑ リモコンホルダー
- ㉒ メンテナンスシール※

※：修理時には製造年月・受注番号が必要です。

巻取りユニット右側のメンテナンスシールをご確認ください。

リモコン仕様

赤外線リモコン	
操作距離	約5m※
電池	CR2032×1個

電動部仕様

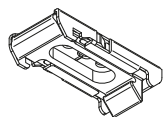
コントロールユニット部仕様	
電源電圧	AC100V 50/60Hz
待機電力	1W以下
消費電力	約15W

※リモコン角度や設置場所の環境により異なります

付属部品

● 本体用ブラケット

幅1200mm以下 2個
幅1205～2000mm 3個



● ガイドワイヤー調整機構用取付けネジ

・窓枠用：φ3×16
(4本)

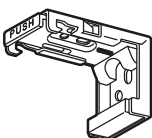


・ガイドブラケット固定用ネジ
：M3×8 (4本)



● 巻き取りユニット用ブラケット

幅1290mm以下 2個
幅1295～2000mm 3個



● ガイドブラケット (2個)



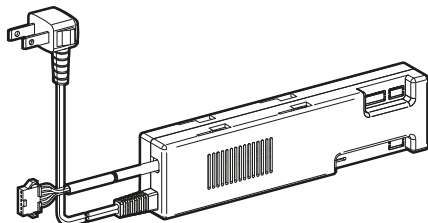
● ブラケット取付けネジ
：φ3.5×16
(ブラケット数×2本)



● ガイドブラケット取
付け用ネジ：φ3×16
(4本)



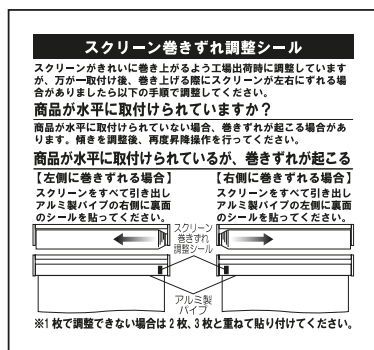
● コントロールユニット (S)



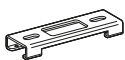
● ブラケット位置出し用テープ (1枚)



● スクリーン巻きずれ調整シール (1枚)



● コントロールユニット 取付けプレート



● コントロールユニット
取付けネジ
：φ4×16 (2本)

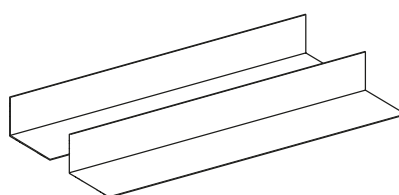


● コードクランプ
(10ヶ)



※ 破線内部品はコントロールユニット (S) に付属

● フレーム (上部用1本・下部用1本)



警告

付属のネジは木質以外の下地に使用しないでください。

付属のネジは木枠用です。(ガイドブラケット固定用ネジを除く) 木質以外の下地 (石膏ボード等) に取付ける場合は、取付け面の材質、ブラケットのネジ穴に適合するネジおよびプラグ・アンカー等を別にご用意ください。ブラケットが確実に取付けられていないと製品が落下し思わぬ事故の原因となります。

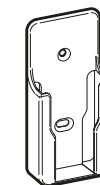
オプション

※お買い求めいただいたオプション部品が付属します。

● リモコン送信機



● リモコンホルダー



● リチウムコイン電池 (CR2032)



※出荷時に同梱されている電池は動作確認用のテスト電池 (保証対象外) です。反応が悪くなった場合にはお早めに新しい電池に交換してください。交換の際は市販のリチウムコイン電池 (CR2032) をお買い求めください。

● リモコンホルダー 取付けネジ (2本)



※破線内部品はリモコン送信機に付属

● リモコン受信機



● 本体接続ケーブル (S) (2m) (5m)



● 受信機取付けネジ (1本)
φ4×16



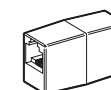
● モジュラー変換ケーブル3 (0.3m)



● コードクランプ
(10ヶ)



● 中継コネクタ



※破線内部品はリモコン受信機に付属

● モジュラー分岐ジャックC

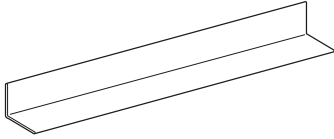


● 通信ケーブル (シールド) (1m) (2m) (3m) (5m)



フレームセット(天井付け用)

- フレーム(サイド用2本)



- 取付けネジ(6本)



取付け前の準備と確認

1. 製品が届きましたら製品と付属品の確認をしてください。

製品の変形、破損、付属品の不足等がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

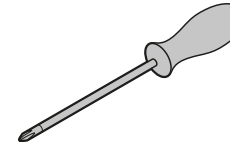
2. 保護材は、保護シートや保護フィルムの記載内容に準じて取外してください。

- ・梱包材(保護材)の廃棄はお住いの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。
- ・不要になった梱包材はお子様の手の届かないところに置いてください。

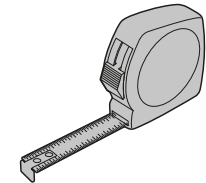
3. 取付ける場所の下地を確認してください。

- ・製品に付属しているネジは木枠用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- ・木部に取付ける場合は、下地の厚さが10mm以上あることを確認してください。
- ・木部以外の下地に取付ける場合は、その下地に応じたネジ、アンカー等をご使用ください。

4. 取付けの際は、以下の工具を用意してください。



プラスドライバー

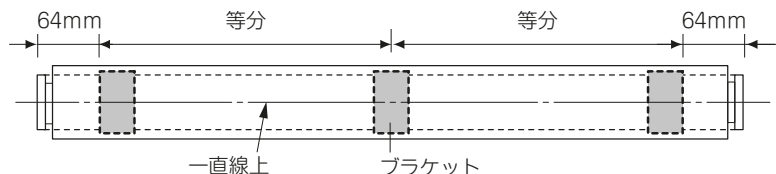


巻き尺(メジャー)

ブラケットの取付け方法

ブラケット取付け位置

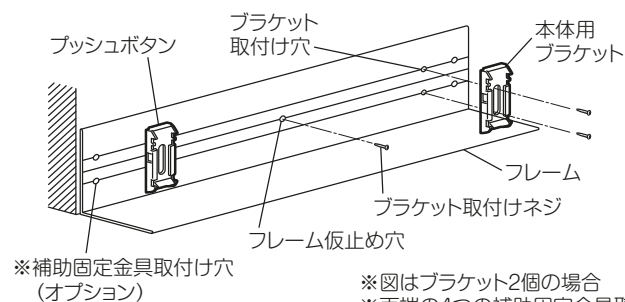
- ・ ブラケットはセットフレーム裏面の「ブラケット位置表示シール」に合わせて取付けてください。
- ・ ブラケットは左右並行（一直線上）になるように取付けてください。



天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

① 上部（本体側）

窓枠内の取付け面に付属のフレームを仮止めし、本体用ブラケットを2本のブラケット取付けネジでしっかり固定してください。

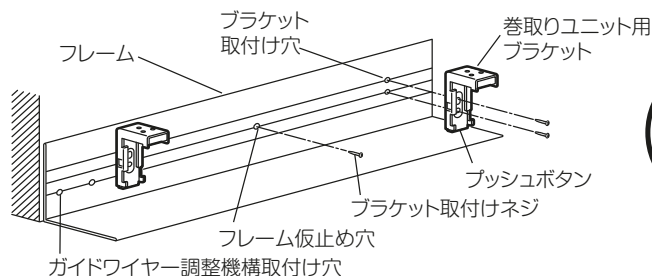


必ず2本のネジで固定する。

※図はブラケット2個の場合
※両端の4つの補助固定金具取付け穴（オプション）はセーフティーワイヤー標準セットの場合にのみ用います。

② 下部（巻取りユニット側）

窓枠内の取付け面に付属のフレームを仮止めし、取付け穴に合わせて巻取りユニット用ブラケットを2本のブラケット取付けネジでしっかり固定してください。

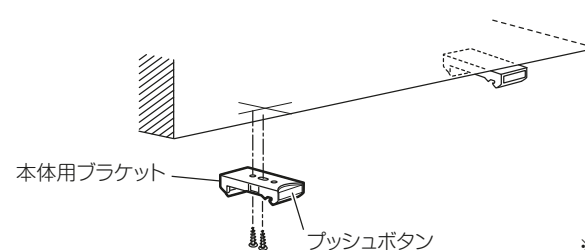


必ず2本のネジで固定する。

正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

① 上部（本体側）

窓枠の取付け面に本体用ブラケットを2本のブラケット取付けネジでしっかり固定してください。

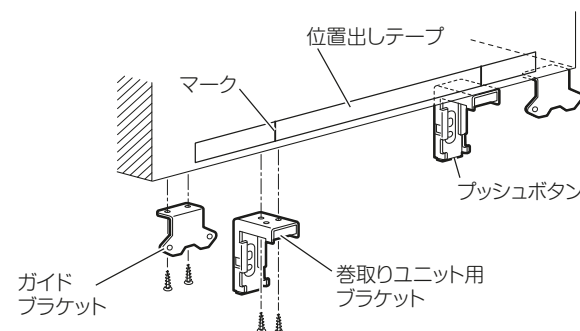


必ず2本のネジで固定する。

※図はブラケット2個の場合

② 下部（巻取りユニット側）

ブラケット位置出し用テープを本体と対称となる窓枠に貼り、テープのマーク部に合わせて取付け面に巻取りユニット用ブラケットを固定してください。また、テープの両サイドにガイドブラケットを2本のネジでしっかり固定してください。



必ず2本のネジで固定する。

注意

木部以外に取付ける場合は下地の種類や構造に応じ穴径（φ4.4mm）に合った適正なネジやアンカー等を使用してください。皿ネジはブラケットが変形する恐れがありますので使わないでください。ブラケットが確実に取付けられないと製品が落下し事故の原因になります。



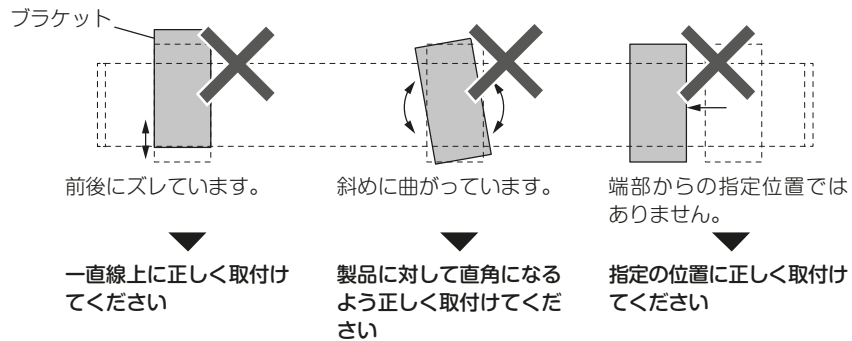
警告

ブラケット・ブラケットアームは取付け位置の図の通り一直線上に取付けてください。

《誤った取付け例》

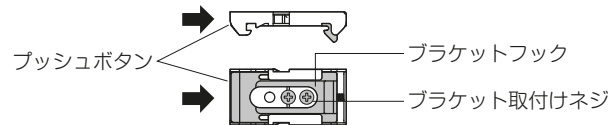
ブラケットやブラケットアームを下図のように誤って取付けた場合、正しく取付け直してください。

ブラケット・ブラケットアームが正しく取付けられないと、製品本体が落下し思わぬ事故の原因になります。



<取付け後の確認>

ブラケットのプッシュボタンを押し、ブラケットフックがブラケット取付けネジに干渉していないことを確認してください。ブラケット取付けネジがブラケットフックと干渉していると製品本体が落下し思わぬ事故の原因になります。



製品本体の取付け方法



警告

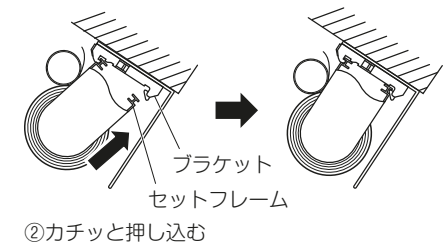
⊘ セットフレームだけを持って製品を持ち上げないでください。

セットフレームだけを持って製品を持ち上げると、部品が破損して製品落下の原因となります。



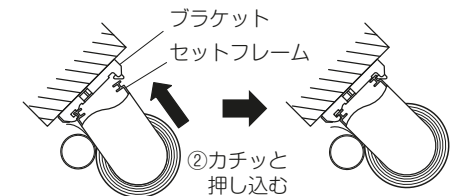
天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

- ① セットフレームの上側をブラケットに差し込みます。
 - ② 下側をブラケットにはめ込みます。
 - ③ 保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。
- ※ 取付けの際はラベルをブラケットに挟み込まないように注意してください。



正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

- ① セットフレームの下側をブラケットに差し込みます。
 - ② 上側をブラケットにはめ込みます。
 - ③ 保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。
- ※ 取付けの際はラベルをブラケットに挟み込まないように注意してください。



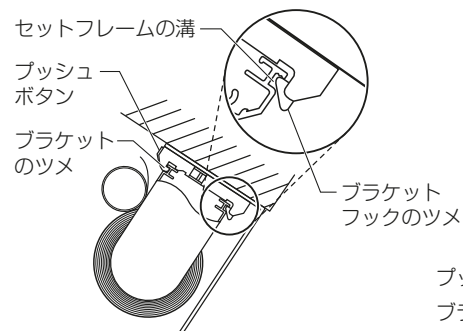
⚠ 警告

・製品本体をブラケットに取付ける際は、セットフレームの溝がブラケットとブラケットフック両方のツメにしっかりと固定されていることを必ず確認してください。

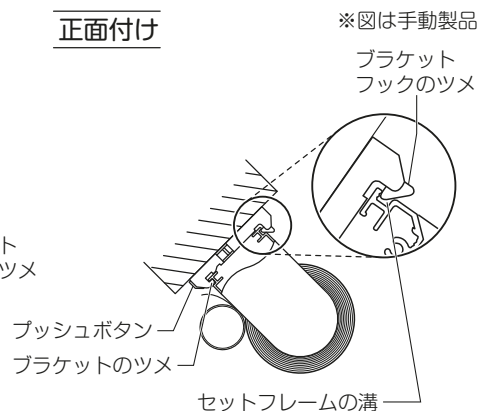
取付けが不完全な場合、製品が落下し事故の原因になります。

※ブラケットフックのツメにセットフレームの溝が入りにくい場合は、プッシュボタンを押しながら製品本体を押し込み、プッシュボタンから手を離れた状態で、両方のツメにセットフレームの溝がしっかりと固定されていることを確認してください。

天井付け



正面付け



※図は手動製品

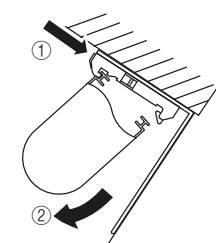
定期的に製品の取付け状態を確認してください。

1年に1回程度、製品本体がガタツキ無く、しっかりと固定されていることを確認してください。もしガタツキがあった場合は、再度、取扱説明書に従い取付けを行ってください。

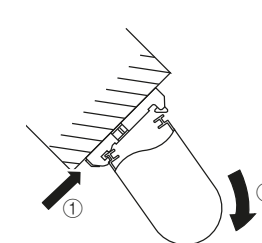
製品本体の取外し方法

- ① 製品本体を手で支えながらプッシュボタンを押してください。
- ② 製品本体を矢印の方向に取外してください。

天井付け



正面付け



⚠ 警告

製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

支えながら作業を行わないと製品が落下し思わぬ事故の原因となります。

セットフレームだけを持って製品を持ち上げないでください。

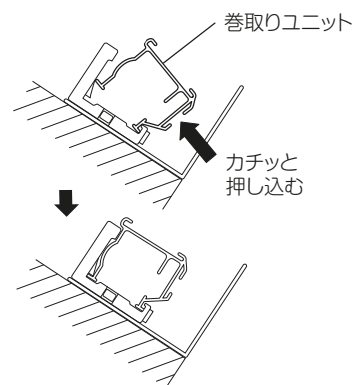
セットフレームだけを持って製品を持ち上げると、部品が破損して製品落下の原因となります。



巻取りユニットの取付け方法

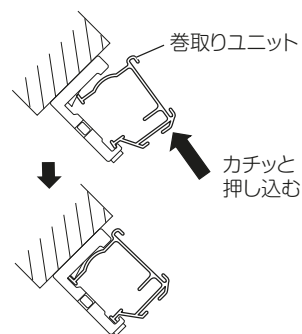
天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

- ① 巻取りユニットの手前側をブラケットに差し込みます。
- ② 奥側をブラケットにはめ込みます。
- ③ 保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。



正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

- ① 巻取りユニットの手前側をブラケットに差し込みます。
- ② 奥側をブラケットにはめ込みます。
- ③ 保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。



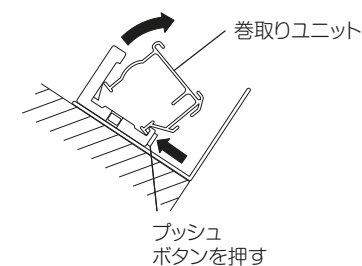
警告

製品が確実に固定されているか必ず確認してください。

ブラケットのツメがガタつき無くしっかり固定されているか確認してください。
取付けが不十分な場合、製品が落下し思わぬ事故の原因となります。

巻取りユニットの取外し方法

- ① 巻取りユニットを手で支えながらプッシュボタンを押してください。
- ② 巻取りユニットを手前側に取外してください。

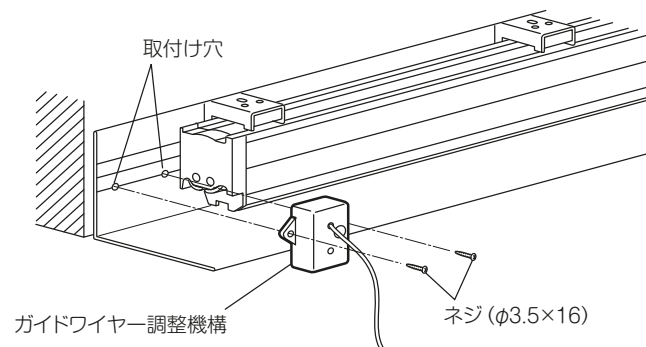


※図は天井付けの場合

ガイドワイヤー調整機構の取付け方法

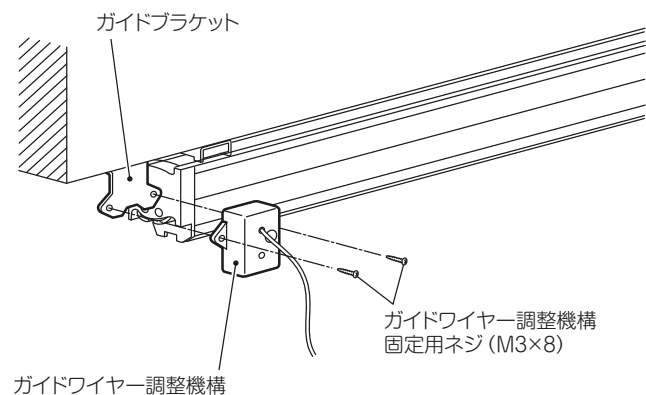
天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

ガイドワイヤー調整機構を、フレームの取付け穴に合わせて2本のネジ（ $\phi 3.5 \times 16$ ）でしっかりと固定してください。



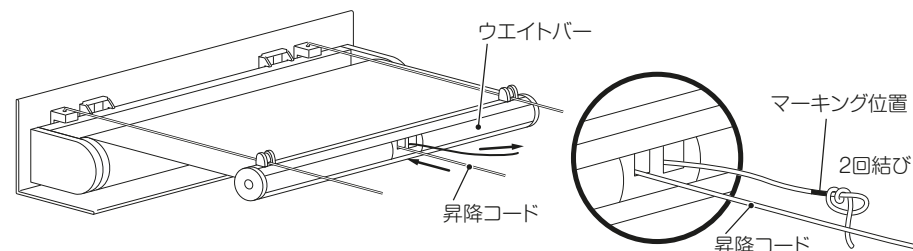
正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

ガイドワイヤー調整機構を、ガイドブラケットのネジ穴に合わせてガイドワイヤー調整機構固定用ネジ（M3×8）でしっかりと固定してください。



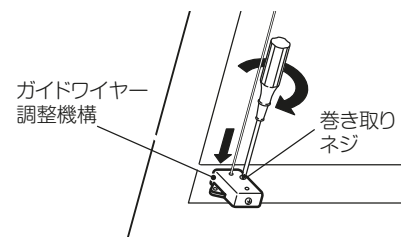
1.昇降コードの固定

昇降コードを小さい穴から大きい穴に通し、マーキング位置に結び目を作ってください。



2.ガイドワイヤーの張力調整

ガイドワイヤー調整機構の巻き取りネジをドライバーで右に回し、ワイヤーを張ってください。



【ワイヤーのたるみ目安値】

- ・ 高さ寸法/1,000mmで5～10mm（ワイヤー中央部）
 - ・ 高さ寸法/2,000mmで10～20mm（ワイヤー中央部）
- ※傾斜角度wが30°でスクリーンを下げた状態時

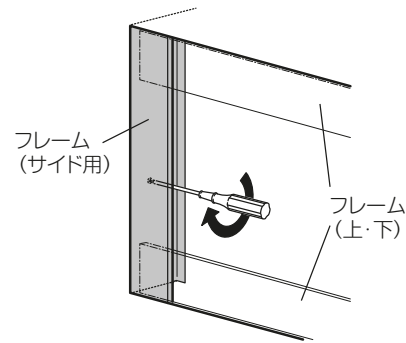
⚠ 注意

電動ドライバー等の高トルク工具は使用しないでください。

ワイヤーを張りすぎないように注意してください。特に電動ドライバー等の高トルク工具は破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。
各ワイヤーが同一の張力になるように調整してください。

3. フレームセット (サイド用) の取付け (オプション)

スクリーンを巻き上げた状態で窓枠内側にセットし、フレームのネジ穴に合わせて取付け面にネジ (φ3.5×16) でしっかりと固定してください。



警告

フレームは窓枠の外側へ取付けることはできません。

付属のネジは木質以外の下地に使用しないでください。

付属のフレーム取付けネジは木枠用です。木質以外の下地 (石膏ボード等) に取付ける場合は、取付け面の材質、ネジ穴に適合するネジおよびプラグ・アンカー等を別にご用意ください。

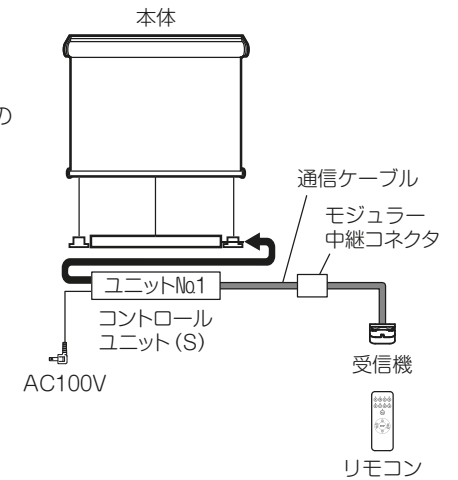
コントロールユニットの接続・取付け方法

電源の位置と各ケーブルの長さを考慮して、コントロールユニット (S) 及び受信機の取付け位置を決めてください。

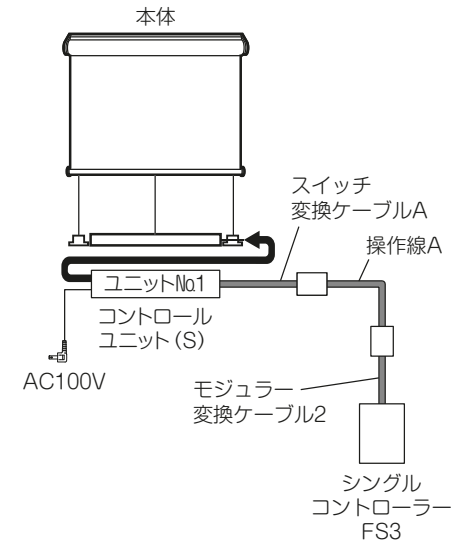
単独操作 (リモコン)

リモコンで製品1台を操作する場合

※ 出荷時には、本体Noは (A) に設定してありますので設定の必要はありません。



単独操作 (シングルコントローラーFS3)

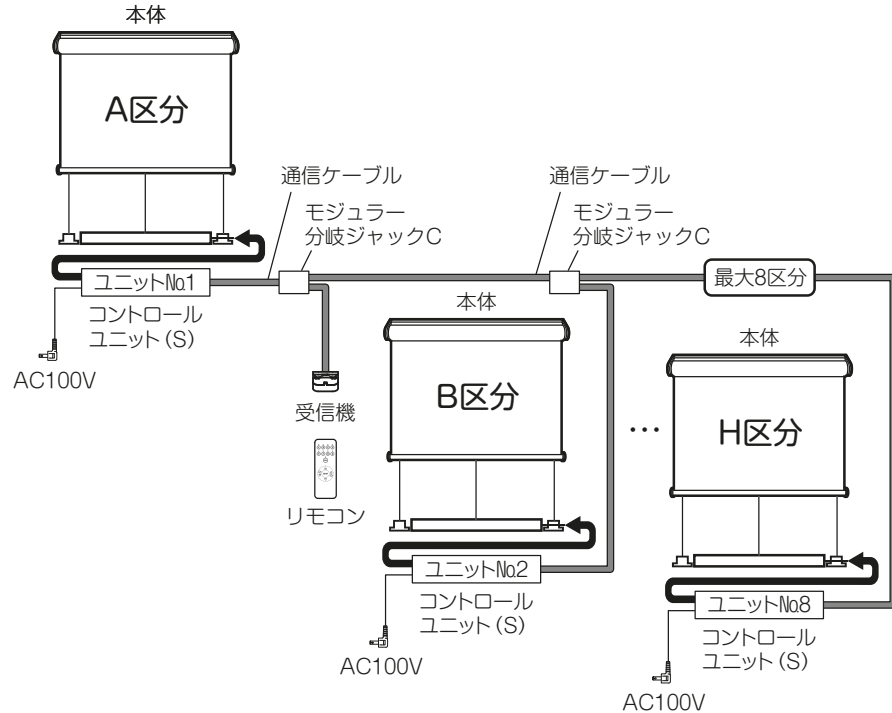


単独・一斉操作 (リモコン)

リモコンで製品2台以上を各区分 (最大8区分) 及び区分一斉に操作する場合

※ 区分はA～Hまでとし、コントロールユニット (S) のユニット番号1～8を示します。

※ 一斉操作は、各々の受信機がリモコン信号を同時に受信した場合のみ可能です。



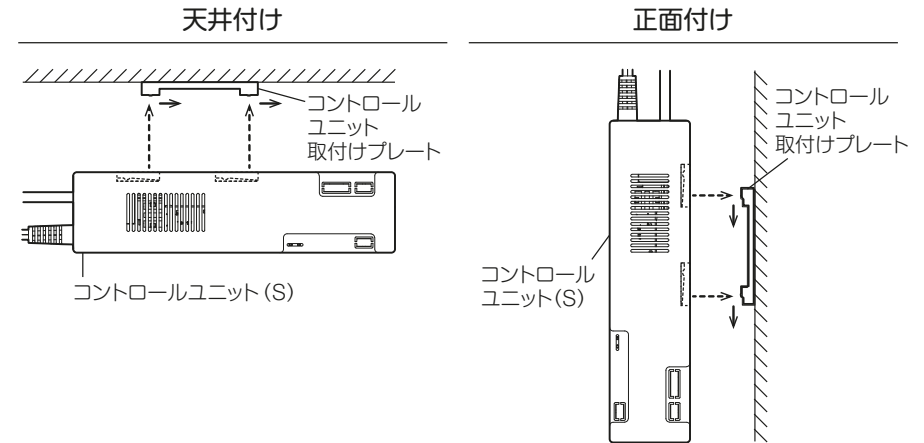
※ 出荷時には、本体Noは (A) に設定してありますので、(B) ～ (H) は本体Noの設定方法に従い設定し直してください。

製品間の配線方法

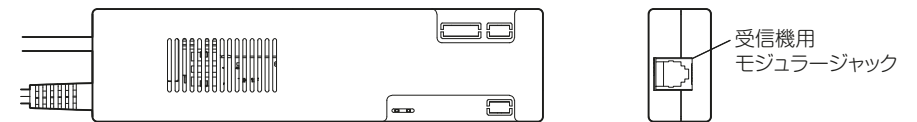
- ① 製品A区分のコントロールユニットに通信ケーブル_シールドを取付けます。
- ② 通信ケーブル_シールドの非接続側プラグにモジュラー分岐ジャックCを接続します。
- ③ 製品B区分のコントロールユニットに別の通信ケーブル_シールドを取付けます。
- ④ 別の通信ケーブル_シールドの非接続プラグにモジュラー分岐ジャックCを接続します。
- ⑤ モジュラー分岐ジャック間を更に別の通信ケーブル_シールドで接続します。

コントロールユニットの取付け

- ① コントロールユニット取付けプレートを付属のネジでしっかり固定してください。
- ② コントロールユニット (S) をプレートに差し込み矢印の方向にスライドさせ確実に固定してください。



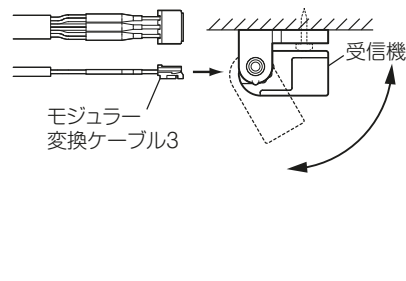
- ③ コントロールユニット「受信機用モジュラージャック」に通信ケーブルを接続してください。



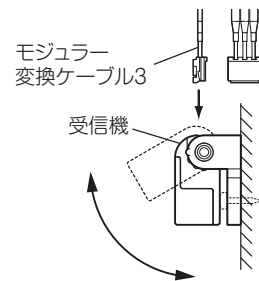
受信機の実装

- ① 取付け面に直接ネジで止めてください。
- ② モジュラー変換ケーブル3のコネクターを受信機とコントロールユニット (S) に差し込んでください。
- ③ モジュラー変換ケーブル3と通信ケーブルを中継コネクターで接続してください。
- ③ 受信しやすい位置に受信機の角度を合わせてください。

天井付け

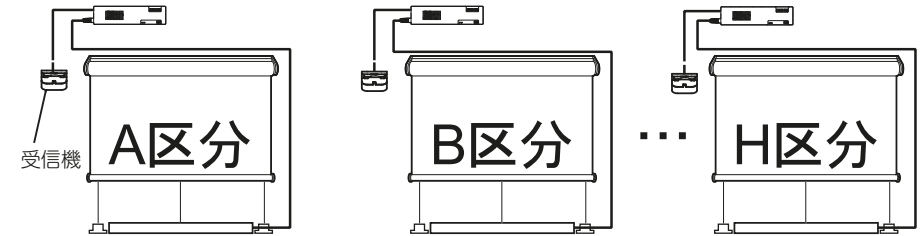


正面付け



本体No.の設定

複数 (2~8) 区分した製品を操作する場合に設定します。最大8区分 (A~H)



コントロールユニット内およびリモコン内のディップスイッチを設定することにより、8区分までの製品をひとつのリモコンで操作することが可能です。

※ 本体No.は出荷時に設定してありますが、変更する場合は下記本体No.およびリモコンの設定方法に従い設定し直してください。

※ 本体No.とリモコン区分は、対 (1:1) になるように設定してください。

※ リモコンの送信距離は約5mです。

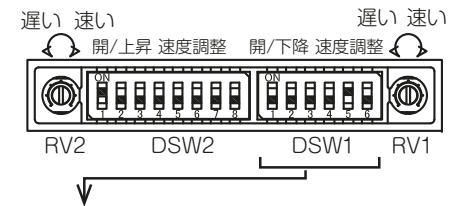
※ 最大となる31台は4つのリモコンで操作可能です。

本体No.の設定方法

コントロールユニットのディップスイッチ (DSW1) により本体No.を設定してください。

※ ディップスイッチ (DSW2) は変更しないでください。もし変更した場合は右図の通りに直してください。

※ ● : ON、無印 : OFF



本体No. (区分)	DSW1					
	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6
1 (A)					●	OFF
2 (B)				●		
3 (C)				●	●	
4 (D)			●			
5 (E)			●		●	
6 (F)			●	●		
7 (G)			●	●	●	
8 (H)		●				
9 (A)		●			●	
10 (B)		●		●		
11 (C)		●		●	●	
12 (D)		●	●			
13 (E)		●	●		●	

本体No (区分)	DSW1					
	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6
14 (F)		●	●	●		
15 (G)		●	●	●	●	
16 (H)	●					
17 (A)	●				●	
18 (B)	●			●		
19 (C)	●			●	●	
20 (D)	●		●			
21 (E)	●		●		●	
22 (F)	●		●	●		
23 (G)	●		●	●	●	
24 (H)	●	●				
25 (A)	●	●			●	
26 (B)	●	●		●		
27 (C)	●	●		●	●	
28 (D)	●	●	●			
29 (E)	●	●	●		●	
30 (F)	●	●	●	●		
31 (G)	●	●	●	●	●	

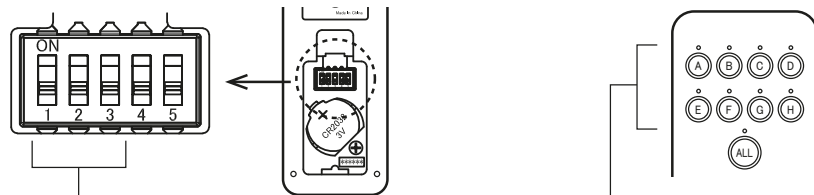
OFF

リモコンの設定 (8区分を超える場合)

本体Noが8区分を超える場合、リモコン側のNo設定が必要となります。

その場合、8区分毎にリモコンをご準備ください。

リモコン裏面の電池カバーを外しディップスイッチを下表の通り設定してください。



操作区分番号切替 (操作区分割り当て)										
1	2	3	Aボタン	Bボタン	Cボタン	Dボタン	Eボタン	Fボタン	Gボタン	Hボタン
OFF	OFF	OFF	1	2	3	4	5	6	7	8
ON	OFF	OFF	9	10	11	12	13	14	15	16
OFF	ON	OFF	17	18	19	20	21	22	23	24
ON	ON	OFF	25	26	27	28	29	30	31	

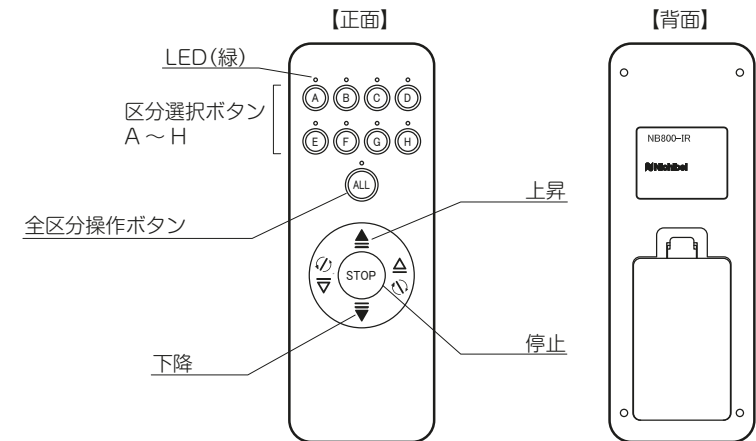
※1台のリモコンでは、本体No (1～8) (9～16) (17～24) (25～31) の区分を選択可能です。

※本体No6～13のような場合は、2台のリモコンが必要になります。

※ディップスイッチ4、5は使用しないため、OFFにしてください。

※ALLは設定に関わらず、受信したすべての製品が操作可能です。

操作方法



下降 : ▾ ボタンを1回押すとスクリーンが下降します。

上昇 : ▲ ボタンを1回押すとスクリーンが上昇します。

停止 : STOPボタンを1回押すとスクリーンが停止します。

右回転 (開) : ◻ ▲ は使用しません。

左回転 (閉) : ◻ ▾ は使用しません。

※ 選択した区分は記憶されるため、同じ区分を操作する場合は、区分選択ボタンを押す必要はありません。

※ 最後に操作を行った区分は、STOPボタンを押している間、区分LED (緑) が点滅してお知らせします。

※ 複数台の製品を同じリモコンで区分別、または全区分 (ALL) で操作できます。A-Hのボタンがありますので、各区分に設定されている製品すべて作動します。

※ 複数台の製品を同じリモコンにて一斉操作する場合、設置環境や設置台数等によっては受信しない場合がありますので、受光部が見える操作場所へ移動して同じボタンをもう一度操作してください。



注意

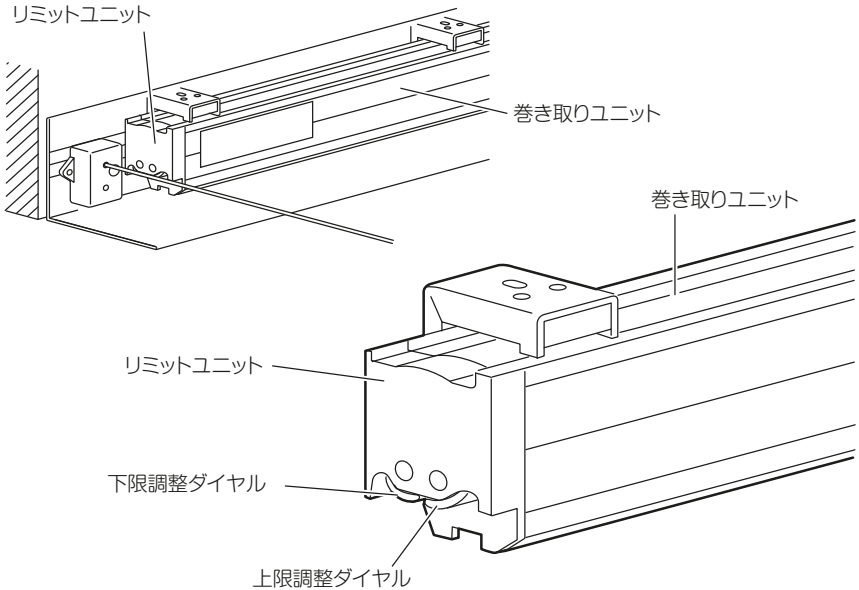
リモコン操作の際は以下のことにご注意ください。

- ・ ボタンは指先で軽く押してください。強く押しすぎると故障の原因となります。
- ・ 受信機の取付角度や場所により動作しない可能性がありますので、リモコン操作の際は受信機の見える場所へ移動し、受信機に向けて操作してください。
- ・ 受信機の近くでしか動作しない場合や、リモコンのLEDが点灯しない場合は、電池を交換してください。
- ・ リモコンは赤外線信号を利用しているため、LED照明や蛍光灯などの照明機器や直射日光により信号を受信できない場合があります。

リミットの調整方法

調整をする前に

リミット位置は出荷時に予め調整していますが、取付け場所によっては施工後に微調整が必要となります。



⚠ 注意

各調整ダイヤルは、調整以外では回さないでください。

調整が必要な場合以外は、各調整ダイヤルを絶対に回さないでください。
リミット位置のズレによる故障が発生する場合があります。

上限位置の設定

リモコンの▼ボタンを押しスクリーンを少し下げ、STOPボタンで停止させます。

▲ボタンを押し上限位置で停止することを確認します。

注意

上限位置以上になっても、モーターが停止しない場合は、STOPを押して停止させてください。

▼ボタンで100～200mm程度下降させた後停止させ、上限調整ダイヤルをA方向に回します。

▲ボタンを押し上限位置を確認し希望位置まで繰り返し調整してください。

上限位置を上げ過ぎるとモーターが過電流停止する場合があります。

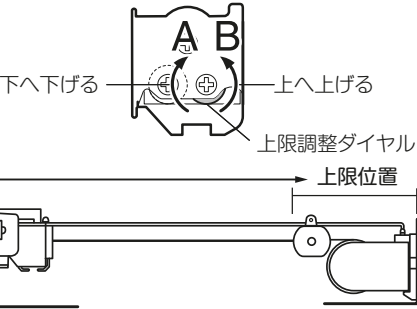
コントロールユニットのLED1,2が点滅し、過電流停止（異常）をお知らせします。

過電流停止が発生すると発生から1分間または前回操作から1分経過しないと再操作ができません。1分以上経過したら、▼ボタンで100～200mm程度下降させた後停止させ、上限調整ダイヤルをA方向に回します。▲ボタンを押し上限位置を確認し希望位置まで繰り返し調整してください。

上限位置の調整

停止位置を下へ下げる場合は、上限調整ダイヤルをA方向へ、上へ上げる場合は上限調整ダイヤルをB方向に回して調整してください。

ダイヤルを回した場合は、必ず一度下降（100～200mm程度）の後、再度上昇させて上限位置を確認してください。



ウェイトバーがスクリーンにぶつからない位置を
上限位置に設定してください。
※ダイヤル1回転で約55mm移動します。

下限位置の設定

リモコンの▼ボタンを押しスクリーンが下限位置に停止することを確認します。

注意

下限位置以下になっても、モーターが停止しない場合は、STOPを押し停止させてください。

▲ボタンで100～200mm程度上昇させた後停止させ、下限調整ダイヤルをB方向に回します。
▼ボタンを押し下限位置を確認し希望位置まで繰り返し調整してください。

下限位置を下げ過ぎるとモーターが過電流停止する場合があります。

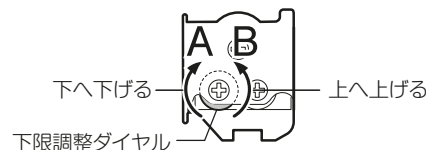
コントロールユニットのLED1,2が点滅し、過電流停止（異常）をお知らせします。

過電流停止が発生すると発生から1分間または前回操作から1分経過しないと再操作ができません。1分以上経過したら、▲ボタンで100～200mm程度上昇させた後停止させ、下限調整ダイヤルをA方向に回します。▼ボタンを押し下限位置を確認し希望位置まで繰り返し調整してください。

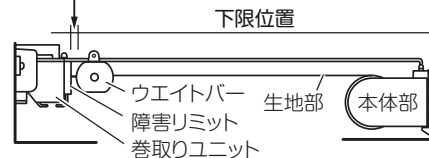
下限位置の調整

停止位置を下へ下げる場合は、下限調整ダイヤルをA方向へ、上へ上げる場合は下限調整ダイヤルをB方向に回して調整してください。

下限調整ダイヤルを回した場合は、必ず一度上昇（100～200mm程度）の後、再度下降させて下限位置を確認してください。



下限位置は、ウエイトバーと障害リミットの間を10mm以上開けた位置で設定してください。
※ダイヤル1回転で約55mm移動します。

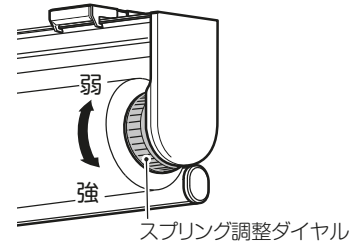


スプリングの調整方法

注意

本製品は、出荷時にスプリングの調整を完了していますが、万ースクリーンが完全に巻き上がらない場合には、以下の手順で調整してください。

調整方法

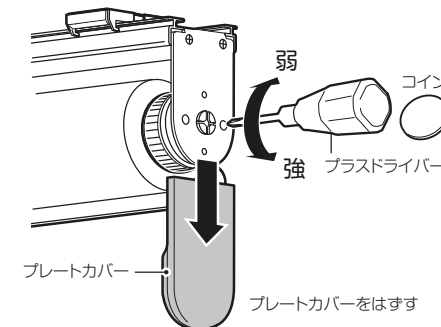


① スプリング調整ダイヤルにて『強』方向に半回転ずつ巻いてください。

※ 巻きすぎた場合は『弱』方向へ回転させて調整してください。

② 昇降操作を行い、動作を確認してください。
完全に上昇しない場合は、①②の操作を繰り返し行って調整してください。

スプリング調整ダイヤル以外の調整方法



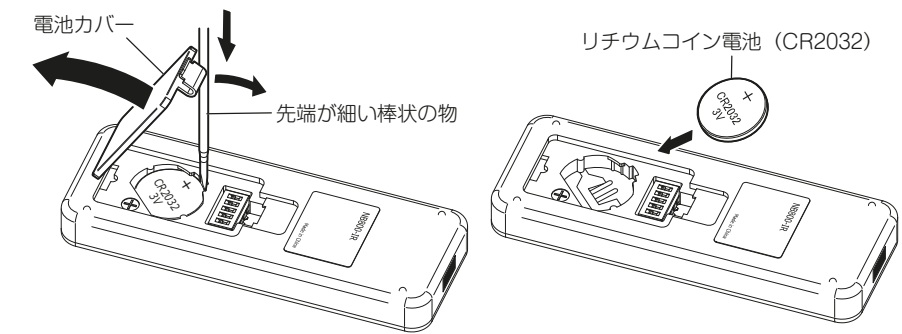
ダイヤル以外の調整方法として、本体右側のプレートカバーを外し、プラスドライバーまたはコインでの操作も可能です。

注意

過度にスプリングを強くすると破損の原因になります。

リモコン電池の交換方法

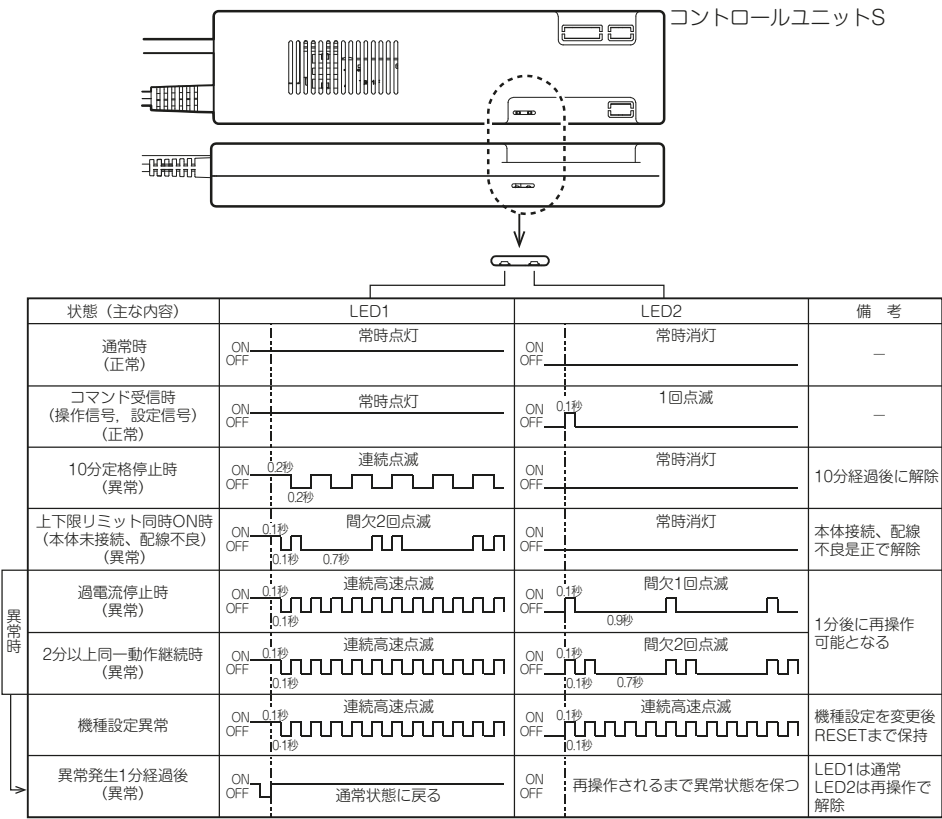
- ① 背面の電池カバーを取外し、先端が細い棒状の物でリチウムコイン電池を取り出してください。
- ② 新しいリチウムコイン電池をプラス極を上側にして組み込んでください。
この時、強く押し込み過ぎないように注意してください。
- ③ 電池カバーを戻してください。



※ 出荷時に同梱されている電池は動作確認用のテスト電池（保証対象外）です。反応が悪くなった場合にはお早めに新しい電池に交換してください。交換の際は市販のリチウムコイン電池（CR2032）をお買い求めください。

LED報知について

コントロールユニットSには本体がどのような状態が表すLED報知機能が備わっています。



お手入れ方法

- ・ 日頃のお手入れは、きれいなハンドモップ等でほこりを取り払ってください。
- ・ 汚れた際は、すぐに乾いた布で吸い取るか、水で固く絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。
- ・ スクリーンは特殊加工しているため、折ったり曲げたりするとシワや跡が残る場合があります。取扱いには十分注意してください。
- ・ 水拭き可能な部品の消毒や清掃をする場合、エタノールをはじめ薬品類のご使用は劣化の原因になります。柔らかい布を用いて水拭き、または水で200倍程度に薄めた中性洗剤で軽く拭き取っていただくことをお勧めします。

こんなときには

現 象	改善方法
購入後、初めての操作で作動しない。	● LED1 (緑) は点灯していますか？ 製品に電源 (AC100V) を入れてください。 電源を投入しても「LED1 (緑) が点灯しない」場合はお買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。 ● 製品とリモコンとの組み合わせはあっていますか？ 製品が複数台ある場合、製品とリモコンの選択する本体Noを一致させてください。 コントロールユニットのディップスイッチ (SW1) の本体Noを確認し、リモコンの該当区分を選択操作し動作確認してください。 ● リモコンを操作するとコントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅しますか？ リモコンを操作するとコントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅し、信号を受信していることをお知らせします。 コントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅しない場合はリモコン電池が正しく入っているか確認してください。 正しい入れ方は「リモコン電池の交換方法」を参照ください。 ● 2台以上をALLボタンで一斉操作した場合、操作場所によっては同時に作動しない場合がありますので、操作場所を移動して再操作で作動しなかった製品を操作してください。 ※ 赤外線信号は指向性を有するためALL操作による指向角度を外れた製品の一斉動作を保証するものではありません。
今まで操作できていたが、あるときから操作できなくなった。	● LED1 (緑) は点灯していますか？ 製品に電源 (AC100V) を入れてください。 電源を投入しても「LED1 (緑) が点灯しない」場合はお買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。 ● 出荷時に同梱されている電池は動作確認用のテスト電池 (保証対象外) です。 反応が悪くなった場合にはお早めに新しい電池に交換してください。交換の際は市販のリチウムコイン電池 (CR2032) をお買い求めください。 ● リモコンを操作するとコントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅しますか？ リモコンを操作するとコントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅し、信号を受信していることをお知らせします。 コントロールユニットのLED2 (緑) が1回点滅しない場合はリモコン電池が正しく入っているか確認してください。 正しい入れ方は「リモコン電池の交換方法」を参照ください。 ● 2台以上をALLボタンで一斉操作した場合、操作場所によっては同時に作動しない場合がありますので、操作場所を移動して再操作で作動しなかった製品を操作してください。 ※ 赤外線信号は指向性を有するためALL操作による指向角度を外れた製品の一斉動作を保証するものではありません。

現 象	改善方法
今まで操作できていたが、あるときから操作できなくなった。	● リモコンに電池が正しく入っているか確認してください。 (電池が入っていて、ボタンを押してもLED (緑) が点灯しない場合は、電池残量不足となっていますので、電池交換してください) ● 受信機の角度、若しくは取付け位置を変更し、再度操作してください。 (蛍光灯やLED照明、太陽光線に直接さらされると作動しない場合があります)
リモコンを操作しても製品が動かない。 (リモコン送受信機側の確認)	 ● リモコン背面の電池カバーを外し、ディップスイッチが操作したい区分の設定となっていることを確認してください。確認後、操作したい製品の操作区分ボタンを押してから昇降操作を行ってください。 ● 操作した際にリモコンのLED (緑) が全点灯する場合は電池が接触不良となっています。 電池カバーを外し電池の納まりを確認してください。 ● 出荷時に同梱されている電池は動作確認用のテスト電池 (保証対象外) です。反応が悪くなった場合にはお早めに新しい電池に交換してください。交換の際は市販のリチウムコイン電池 (CR2032) をお買い求めください。 ● コントロールユニットのLED2 (緑) が、操作に対する反応がありますか？ コントロールユニットのLED2 (緑) が点滅することを確認してください。確認後、リモコン操作時に点滅の反応がない場合は、お買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
開閉中に停止することがある。	● 両ガイドワイヤーの張力が均一ではない場合、張力が均一になるよう調整してください。
設定された下限 (閉) 位置で停止しない。 または、上限 (開) 位置まで開かない。	● リミット位置がずれていることが考えられますので、「リミットの調整方法」を参照し再度リミット設定を行ってください。 リミット設定を行っても同じ症状が出る場合は、お買い上げいただいた販売店または、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
リモコンの反応が悪い場合がある。	● 本製品はリモコンからの赤外線信号を受信して作動します。受信部は製品右のサイドカバーに内蔵されていますので、下記環境下には設置しないでください。 正常に動作しなくなる場合があります。 ・ 直射日光のあたる場所。 ・ 白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く。 ・ LED照明や蛍光灯などの照明機器の近く。 ・ ホームセキュリティなどのセンサー用赤外線領域。 ・ その他赤外線機器の近く。 ※ リモコンの送信距離は約5mですので、信号の受信可能な範囲に製品を取付けてください。

現 象	改善方法
リモコンの反応が悪い場合がある。	● 出荷時に同梱されている電池は動作確認用のテスト電池 (保証対象外) です。リモコンの反応が悪くなってきた場合、電池の消耗が考えられます。反応が悪くなった場合にはお早めに新しい電池に交換してください。交換の際は市販のリチウムコイン電池 (CR2032) をお買い求めください。 「リモコン電池の交換方法」を参照し、電池交換を行ってください。
操作しても直ぐに停止してしまう。	● LED1 (緑) が点滅している場合。 外からの力が配線に加わり接触不良・断線を起こしている可能性があります。または製品に強い力が加わり、モーターに必要以上の負荷が加わり過負荷停止している可能性があります。 お買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
発熱や異音がする。	● 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げいただいた販売店、または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
本製品の動作中に近接のAV機器の音声・画像に影響がある。	● 製品から離れたところで使用してください。 ● AV機器の配線と製品の電源コードを離してください。
連窓操作時に動作が不揃いになる。	● 受信状況により、複数台を同時に操作しているにもかかわらず、いずれかの製品が動かない場合があります。 2台以上をALLボタンで一斉操作した場合、操作場所によっては同時に作動しない場合がありますので、操作場所を移動して再操作で作動しなかった製品を操作してください。 ※ 赤外線信号は指向性を有するためALL操作による指向角度を外れた製品の一斉動作を保証するものではありません。
連窓操作時に昇降速度が揃わない。	● モーターの仕様 (速度制御の誤差範囲) により、途中停止した位置が揃わない場合があります。 該当位置から外れている製品は区分ごとに昇降操作し該当位置に合わせてください。
スクリーンが巻き乱れる。	● スクリーンに風や空調等が当たり、巻きずれが発生する場合があります。窓を閉めたり、空調の向きを変える等、スクリーンに影響が無いようにしてください。 ● 付属部品の「スクリーン巻きずれ調整シール」を巻取りパイプに貼ってください。 シールに記載の説明を参照し巻きずれ調整位置までスクリーンを降ろしてください。 ● 製品が水平になるよう取付け面を調整してください。 ● 両ガイドワイヤーの張力が均一になるよう調整してください。

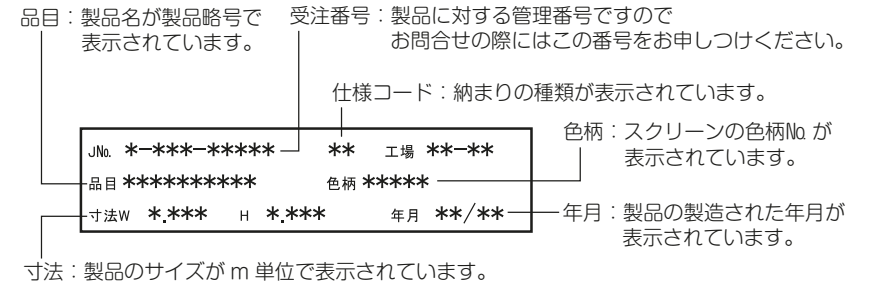
現 象	改善方法
スクリーンが汚れた。	● すぐに乾いた布で吸い取るか、水で固く絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。 ● ウォッシュャブル仕様の場合は、「スクリーンの洗濯方法」に従いスクリーンを洗濯してください。 洗濯はスクリーンに縫い付けられた洗濯表示に従ってください。

上記以外の場合や改善をしても直らない場合、その他の問題が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

メンテナンスシールについて

この製品についての詳細はメンテナンスシールに記載してあります。
メンテナンスシールの貼り付け位置は、「取付け完成図と各部の名称」をご覧ください。

メンテナンスシール



MEMO

MEMO

この製品は保証対象製品です。以下の保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、当社保証規定に従って修理させていただきます。
修理をご依頼の場合は、メンテナンスシールをご確認の上、お買い上げいただいた販売店又は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

保証期間：お買い上げ日より3年間

保証規定

- 取扱説明書・本体注意ラベル・操作カードに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。但し、消耗部品（スクリーン部・コード・チェーン類）の無償保証期間は1年となります（スクリーン部の汚れは対象外）。キズ・汚れ等につきましては、7日以内にお申し出ください。
- 保証期間内でも次の場合は無償修理対象外（有償修理）となります。
 - ・取付け上の誤り、使用上の誤りによる故障または破損。
 - ・不当な改造、修理による故障または破損。
 - ・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障または破損。
 - ・特殊環境（極度の高温多湿、薬品のガス、公害、粉塵等）による故障または破損。
- お買い上げ日とはメンテナンスシールに記載されている製造年月となります。

●お客様サービス窓口：TEL.03-3272-2595
（お問合せ時間：9:00～17:30）
※土日祝日、夏季、年末年始を除く

株式会社ニチベイ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4

お客様MEMO

最新の取扱説明書は、ニチベイウェブサイトで簡単にご確認いただけます。
下記URLより取扱説明書ダウンロードページへお進みください。

株式会社ニチベイ
www.nichi-bei.co.jp